

対象 日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2019年4月1日から2020年3月31日の間に実施するメセナ(芸術・文化による豊かな社会創造)活動

●ジャンル

音楽／美術／工芸／映画／映像
メディア／演劇／舞踊／文学／伝統芸能／民俗芸能／建築／複合芸能／文化遺跡・歴史的建造物／ファッション／ものづくり など

●形態

公演や展覧会、アウトリーチやワークショップ等各種文化プログラムの実施／人的・物的支援、ノウハウや場所の提供、資金支援／人材育成や顕彰・コンクール事業の実施／文化施設等での企画・運営／出版物の発行 など

●活動例

地域の文化を守り育てる活動／市民が芸術・文化を楽しむ機会の提供／芸術・文化団体への資金提供／芸術・文化団体との協働 など

※営利を主たる目的とした活動、宗教活動や政治団体の普及を主たる目的とした活動は対象となりません。

審査 3つの視点(活動の位置づけ、活動の主体性、活動の視野)を中心に、社会・地域への思いや創意工夫を凝らした点などを含めて総合的に審査

●審査委員

原島 博 東京大学名誉教授 ※審査委員長
大谷 能生 音楽家／批評家
萩原 なつ子 立教大学社会学部／大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授
中島 信也 東北新社取締役／CMディレクター
馬渕 明子 国立西洋美術館長
尾崎 元規 企業メセナ協議会理事長 ほか1名を予定 (五十音順・敬称略、肩書は2019年2月時点)

手数料

認定活動1件につき30,000円(企業メセナ協議会会員は無料)

※応募には手数料はかかりません。

受付

This is MECENAT専用サイト内の応募フォームにて

3月15日(金)から5月15日(水)24:00まで

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

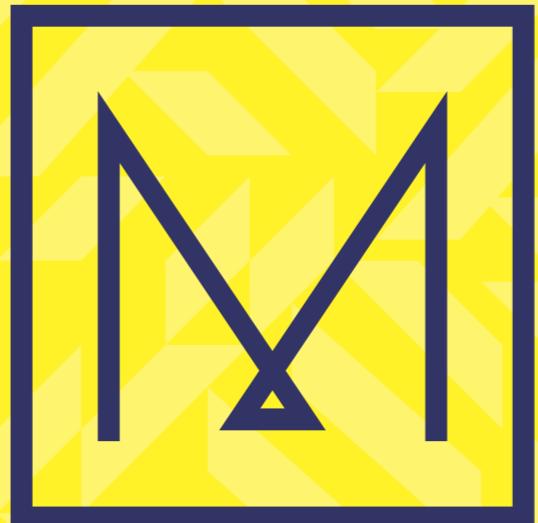
<https://mecenat-mark.org> または This is MECENAT で検索

お問い合わせ

公益社団法人 企業メセナ協議会 This is MECENAT係
Tel:03-5439-4520 E-mail:mecenat@mecenat.or.jp

メセナとは、芸術・文化を通じた豊かな社会づくりのための活動です。
公益社団法人 企業メセナ協議会は、企業が行うメセナ活動を応援します。

メセナ活動認定制度



THIS IS MECENAT 2019

募集開始!!

「This is MECENAT」は、多彩なメセナ活動を認定し、各活動に光をあてるることにより、芸術・文化による豊かな社会づくりを促進していくことを目的とした制度です。

【募集要項】

対象:全国各地の企業や企業財団が実施するメセナ活動

募集期間:3.15 fri-5.15 wed

※詳細は中面をご覧下さい。

「This is MECENAT 2019」では、 企業が主体的に取り組むメセナ活動を募集します。

「This is MECENAT」は、企業などが取り組むメセナ(芸術・文化による豊かな社会創造)活動を有識者の審査により認定する制度で、2014年にスタートしました。時代とともに多様化している企業メセナを広く周知するため、「これぞメセナ」と認定された活動には、シンボルとして「メセナマーク」を発行し、「メセナアーカイブ」に掲載。「メセナの今」を多角的に発信し、これまでに約600件以上の活動を登録してきました。さらに認定された翌年には、特に優れた活動を「メセナアワード」として表彰します。ぜひご応募・ご推薦ください。

「This is MECENAT」に認定されると…

メセナマークの活用

芸術・文化による豊かな社会創造=メセナ活動のシンボルマーク。認定活動に対して、認定年度に発行します。活動に関する広報媒体(ウェブサイト、チラシ、ポスター、プログラム)などで広くご活用いただけます。ウェブサイトではマークの活用例をご紹介しています。

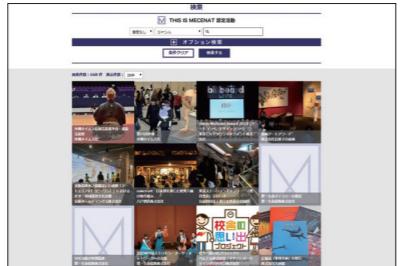
<https://mecenat-mark.org/mark/examples.php>



THIS IS
MECENAT
2019

広報

認定活動はすべて、This is MECENAT専用サイト内「メセナアーカイブ」(<https://mecenat-mark.org/>)に掲載するほか、プレスリリースの配信やSNSなどによる広報協力をします。また、一部ご活動に関しては、外部ライターによる活動取材をさせていただき、記事を協議会サイトに掲載します。



メセナアワードの対象

毎年、前年度に認定された活動から特に優れた活動7件(メセナ大賞1件、優秀賞5件、特別賞:文化庁長官賞1件)を選考。受賞活動へは、表彰状とトロフィーを贈呈します。[1991年創設]



「This is MECENAT 2018」認定活動例

TOA株式会社



「TOA音の防災シアター『カンカン塔の見はり番』」
(全国各地)

音響機器メーカーとして、子どもたちへの防災意識の醸成を目的としたオリジナルの人形劇公演。全国の学校や児童館、自治体や地域の防災イベントで巡回公演を行い、子どもたちの自助意識の醸成に務めている。



株式会社竹中工務店
「木造モダニズム建築『聴竹居』による社会貢献と建築文化発信」
(京都府)

建築の名作と位置付けられ、2017年には重要文化財に指定された故・藤井厚二の自邸「聴竹居」を地元と連携し保存するとともに、一般公開するなど建築文化の発信を行っている。

六花亭製菓株式会社



「六花の森の企画・運営」
(北海道)

10年の歳月をかけて工場のある中札内村の自然を蘇らせ、2007年に約10haの広大な森をオープン。自治体と連携を図りながら景観の保全や文化施設づくりなど地域の文化遺産つくりを継続している。



公益財団法人
吉田秀雄記念事業財団
「アドミュージアム東京
～いつも あなたに 新しい発見を～」
(東京都)

広告コミュニケーションの社会的・文化的価値を伝え、理解促進を深める日本で唯一のミュージアム。広告の役割の変化と新たな可能性を提示する企画展や、他領域との連携を通じて社会課題について来館者とともに考えるプログラムなどを実施。

沖縄タイムス社



「沖縄タイムス伝統芸能選考会・選抜芸能祭」
(沖縄県)

沖縄の伝統芸能の正しい継承と新しい世代の育成を図ることなどを目的に60年以上の歴史を持つ。舞踊や三線をはじめとした音楽の6部門で選考会を実施し多くの優れた実演家を生み出している。



シミック
ホールディングス
株式会社
「中村キース・ヘリング
美術館 国際児童絵画
コンクール」
(山梨県)

未来を担う子どもたちに隔たりの無い自由な発想で絵を描いて欲しいという願いのもと、4歳から17歳までを対象した国際的なコンクール。受賞作品はキース・ヘリングの作品とともに、美術館に展示される。

日本ユニシス株式会社



「川畠成道ニューイヤーコンサート
(目の不自由な方のご招待及び
ボランティア社員によるサポート)」
(東京都)

事前研修を受講した社員ボランティアによる送迎やサポート、点字や拡大文字、音声で聞けるパンフレットの配布など、目が不自由な方々が安心して参加できるコンサートを開催。



株式会社
アンデルセン・
パン生活文化研究所
「アンデルセンの
メルヘン大賞」
(広島県)

創業35周年の1983年に、童話創作の場と機会を提供することを目的に創設した公募の童話大賞。選考委員を務める絵本画家やイラストレーターが自ら選んだ受賞作品に、挿絵を描き、「アンデルセンのメルヘン文庫」に収録され刊行。

株式会社スズケン



「白鳥おどり in
コージュ高鷲」
(岐阜県)

岐阜県郡上市白鳥町の伝統的な盆踊り「白鳥おどり」の継承の一助として、同グループ保養所「コージュ高鷲」を無料開放。大広間で約300名が輪踊りを行い、地域文化の活性化と保存を支援している。



株式会社MARUWA
「MARUWAの芸術文化
支援活動」
(東京都、愛知県)

クリスマスコンサートの企画・運営のほか、陶芸・照明分野の海外芸術家育成事業等を行う(一財)神戸財団と、スペイン舞踊の公演等への助成や若手コンクールの開催を行う(公財)スペイン舞踊振興MARUWA財団を運営。

認定企業の声



株式会社 講談社
「本とあそぼう
全国訪問おはなし隊」



株式会社リソー教育
「第20回 トマス・コンサート」
「第14回 クリスマスバレエ公演」



▲担当者の名刺にはThis is MECENATのロゴシールを貼っています。

2019年、20周年を迎える「おはなし隊」は、全国の読書推進活動に携わる方々はご存じですが、一般的の企業の方には講談社がこのような取り組みを行っていることがあまり知られておりません。「This is MECENAT」に応募のきっかけは、社の事業である「おはなし隊」の認知度を高め、今後の活動に何かしたいという思いからです。(ご担当 藤さんより)

「勉強+1」の理念をもとに、子どもたちに本物の体験を提供する『クラシックコンサート』や『クリスマスバレエ』の企画運営を、プログラム内容から選曲、誘導に至るまですべて社員が手作りで行ってまいりました。「This is MECENAT」に申請し、認定されたことで、このイベントの意義を客観的に評価・実感できたように思います。(ご担当 松原さんより)

2018年 認定件数 149件

これまでの認定件数 668件